

起業論・アントレプレナーシップ講座

アントレプレナーシップ(起業家精神)を学ぶことは、現代社会における重要なテーマです。

8月20日(火)・21日(水)に、全科学年(希望者)を対象に、佐々木敦斗氏(東京大学を卒業し、朝日新聞の記者、リクルート社員を経て教材開発会社を起業)をコーディネーターに、「起業論・アントレプレナーシップ講座」を実施いたしました。

1日目は、「起業とは何か」を知るプログラムです。

午前中は、とちぎアントレプレナー・コンテスト実行委員会の協力のもと、栃木県で活躍されている起業家(株式会社オリゼ・小泉泰英社長、エンジェルコーヒー・仁尾遥介社長)をお招きし、高校生自身が地域で起業する可能性に気付くことができるお話をいただきました。

午後は、生徒がグループでビジネスプランを考えました。「栃木の課題を解決し、地域を活性化するビジネス」、「全国の高校生の困りごとを解決し、高校生活を楽しくするビジネス」、「テクノロジーの力で課題を解決し、新しい世界を創造するビジネス」、「自由テーマ」の中からテーマを選び、グループに分かれてワークショップを実施しました。



ワークショップの様子

2日目は1日目で得た知識を活用し、さらにビジネスプランを深めました。午前中は、ワークショップ講師としてデロイトトーマツベンチャーサポート株式会社ビジネスプロデュース事業部の平良岬氏をお迎えしました。午後は、ビジネスプランをGoogle スライドによりグループごとに発表しました。起業家(株式会社SETUPJAPAN 代表佐山輝氏)と足利銀行から行員2名をお招きして講評をいただきました。

「AIを活用し、個人に合わせたファッションを提案してくれるアプリ」を発表したチームが最優秀賞に輝きました。審査員から、「すべてのチームが高校生ならではのビジネスプランであり、非常に興味深いものがありました。この経験を今後の勉強に生かしてほしい。」とのお話をいただきました。

参加した生徒からは「起業ということを知ることができてよかった。」「起業家の方々から色々なお話を聞く

ことができ、グループでのプレゼンテーションなど、今までにないとても貴重な経験ができ、とても楽しかった。」「起業のプランを考えるのは楽しかった。」「起業の話聞いて沢山の人の関わりやたくさんの経験が積み重ねで成り立つものだと言うことが分かった。」「以上のような感想が聞かれ、将来考えるよいきっかけとなったようです。



プレゼンの様子



審査員の方々から最優秀賞をいただきました。